

# 書香

1983. 5. 1

NO. 3

## 書庫に立って

—本学教官に望むこと—

人文学部教授 本田 弘

大学の図書館は、教育研究の中枢に所在するものとして位置づけられている。教育研究の直接の任は、教官の負うところであるが、よりよい教育研究活動が可能となるためには、すぐれた図書・資料が図書館に所蔵されていることを必須とするからである。（主として非実験講座・学科目。）

ところで、本学発足当初からの教官を含めての各教官の努力により、部分的には、それなりに教育研究活動に不可欠な基本図書等の図書館に所蔵されているのが見られるし、旧制富山高等学校等から継承するものの中にも貴重な蔵書がある。

しかし、そうした事情にもかかわらず、書庫に立てば、基本図書等の不足、同一書籍の重複部数の夥しさ、教官が私的に購入することが適当ではないかと思われる書物の多いことが眼にとまる。昭和53年秋、創設学部としての人文学部視察に来学された文部省視学委員の一人からも、私的に、上に触れたごとき事実の指摘を受けている。

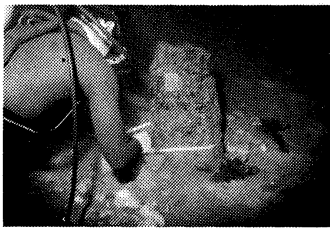
歴代の図書館長、図書館商議会、事務部が図書館発展のために尽しておられる労を多としているし、その成果も現われている。しかしながら、それら関係者の尽力にも限界がある。図書・資料の収集の任を直接負うのもま

た教官だからである。もし教官にその責務の重さの自覚と識見とがなければ、すぐれた図書等の所蔵、図書館の真の充実は、望めなからう。

一般的に言えば、個々の教官の本学在勤は、区区である。しかし、その期間の長短にかかわらず、教官の職務としての図書・資料の収集は、教官個人のための営為にのみ係わるものではなく、自己の後任、次の世代の教官に教育研究活動に不可欠なすぐれた図書等を残すということを、そして、更に事がらがないよりも本学の教育研究条件の向上を左右することに係わるということを各教官は、心にとめていただきたいものである。

しかしながら、なお述べれば、教官個人の努力にも自ずから限界がある。現行の大学制度から見て、次のことは、なかなか困難なことであろうと思われるが、基本的には、各学部・教養部の枠を越えての学問における関連分野毎の教官集団の統一された意思による創意工夫がなければ、上に見る諸問題の抜本的解決は、ありえないであろうし、図書館の限りない発展もまた期待されえない、と考えられるからである。

制度に係わる事がらをも含めて、本学教官のより深い自覚を切望する次第である。



## 山崎カール・埋没林・公害

教養部教授 藤井昭二

立山にいくと雄山神社の下に山崎カールがあると説明される。立山にも氷河があったのか？ そういえば夏でも雪溪が沢山残っていると感心する。またカレンな高山植物が咲ききそっている。高山植物にはチシマキキョウ、ウルップソウ、シコタンソウ等千島列島と同様な植物がポツンと分布している。立山にU字谷や圏谷氷河ができる時平野や海はどうなっていたのであろうか？

呉羽山の西側で工事があると常に保存のよいコマツガ、チョウセンゴヨウ、エゾマツの毬果、葉、樹幹が大量に産出する。これらの植物は現在立山連峰では1,400m以上の亜高山帯に成育し、それらが平野に成育するためには気温が7～8℃低下する必要がある。立山に氷河が発達していた時代には富山平野では氷河でおおわれていたのではなく、現在の北海道の北部のようにエゾマツ等が平野に自生していたことを示している。では海は、富山湾ではどんなことが起っていたのであろうか？ 寒くなると大陸に降った雪はとけないため大陸や極の氷河は拡大をはじめ。それらが拡大するための供給源の水は結局のところ海しかなく、海の水が雪となってどんどん陸に固定されると海面は低下せざるを得ない。当時大陸棚の外縁まで海面は低下し陸橋が形成され、大陸棚に植物がはえ動物が歩いてよいはずである。現に日本近海の大陸棚上からナウマンゾウがよく発見され、また北米東海岸の大陸棚からはマンモスやオオツノシカ等北方系動物の遺骸が沢山引揚げられている。動物や泥炭が引揚げられるのであるなら森林があつてよいはずである。

魚津の埋没林のような汀線付近の埋没林はイングランド、ウェールズ、ブルターニュ、ファンディ湾等から知られているが、海底下数十mのものは漁業で有名な北海のドッガバンクの記録しかない。それも戦後の文献には一つも記録されていない。

1980年の5月に魚津で潜水を仕事としている下田喬さん達が、入善町吉原沖で、私達が

求めていた埋没林を発見し、'80、'81、'82と三年の調査で、埋没林の分布、規模、性格を大つかみにすることができた。

すなわち、ハンノキやヤナギを主とする、高さ30cm、樹令20～30年の樹根が、海岸に平行に2.5km、沖に1kmの間の海底谷そいに水深20～40mの間に100本以上あることが確認され、その年代は1万年から8千年前までの間にはいり、それが数層になっている。即ち深いものは古く、新しいものが若いということである。樹根はフナクイムシに食べられ、水にふやけて、指でおすとひっこむ程の柔かさで、1万年も海底にあったとは到底考えられない。また水谷義彦先生の水質分析では樹根の間の礫層から地下水が湧いていることが知られ、埋没林の保存環境にはマイナスの働きをしていることが明らかになった。

花粉分析や珪藻分析の結果、扇状地末端の“杉沢”の様な群落が扇状地という堆積状態の早い場所で急速に埋積され、さらに後氷期の気温上昇に伴う海面上昇による海岸浸食で大かたのものが浸食された。しかし残ったものが、海底谷の形成に、伴う海底浸食、地下水湧水による浸食の結果再度海水中にあらわれたものであろうことが明らかになった。

10<sup>3</sup>年の単位で海水準が気候変化によってかなり容易に増減することをのべた。

産業革命以来、近年の工業社会の発展、すなわち人間生活が気候変化に影響を与えていることが明らかになり、それに伴う海水準の上昇が世界的に知られている。現在の極氷が $\frac{1}{10}$ 融解すると海水面は7～10m上昇することが容易に計算される。年1.8%の割合で増大する人口(35年で倍になる)！ 人口に見あう食糧！ 海水準の上昇のため食糧基地である沖積平野の縮小！ 人類社会の将来がどうなるか、吉原沖埋没林は私に地球的規模で物を見る必要を語っているように思えてならない。

**資料** 「富山湾黒部川扇状地沖埋没林の研究（昭和57年度科学研究費補助金研究成果報告書）」 研究代表者藤井昭二

## 文 献 紹 介

### Beilsteins Handbuch der Organischen Chemie (Beilstein有機化学全書) (Springer, Berlin)

“Beilstein”は有機化合物の物理的および化学的データを集めた便覧で、化合物を鎖状・炭素環状・複素環状分子に大別し、独特の「Beilsteinシステム」に従って整理配列してある。既知の炭素化合物の“構造と立体配置・天然産出と天然物からの単離・製法・生成・精製・分子構造と分子エネルギーのパラメーター値・物理的性質・化学的挙動・同定と分析・塩と付加化合物”に関する情報が専門家によって厳選されている。すなわち、データの確実性、相互の整合性、最新性、重要性などについて、綿密に且つ最新の化学的見地から検討されており、原論文における明らかな誤りは訂正され、純度の低い合成法、陳腐なデータなどは除外されている。Chemical Abstractsなどの抄録誌と異なり、情報の選択・整理に時間を要するので情報の新鮮さに欠けるが、原論文まで遡ることなく或る程度内容が把握できる。

本館には、主編(～1909)、第I増補編(1910～1919)、第II増補編(1920～1929)の全巻と、第III増補編(1930～1949)の1～4巻がある。

(理・山口)

### 日本国勢地図帳 建設省国土地理院 日本地図センター発行 1977年3月 366P A2

この本は、「ナショナルアトラス日本」とも呼ばれ、先進各国で既刊のナショナルアトラスの日本版である。この本では、日本全国を対象に、地形地質など自然はもとより、経済、社会、文化の各分野の、日本地図上に表現されうるあらゆる統計資料や研究成果が、366頁、216枚の主題図上に集大成されている。例を挙げると、地震分布、降水量、人口分布、米の収穫面積、工業生産高、自動車交通量などである。

主題図の縮尺は主として250万分の1又は400万分の1で、内容によって500万分の1から1200万分の1のものも使われている。各主題図には、簡潔な解説と副図が添えられており、読

む人の理解を助け、主題図の利用を効果的にしている。これらの主題図を用いての調査研究に便宜を供するために、各主題図は1枚300円でばら売りされている。

日本国勢地図帳は、同時に、英語版 National Atlas of Japan も刊行されている。

(理・川崎)

### 素粒子論研究 京都大学理論物理学刊行会

1949年～

京都大学湯川記念館内理論物理学刊行会が発行している和雑誌に「素粒子論研究」がある。1949年以来続いている素粒子論グループ機関誌である。初期のものと現在のものとの発行所や印刷様式に違いはあるものの、編集の基本的姿勢に大きな変化はなく、価格すらも大して変わっていない。創刊の頃のものを見てみると、当時は日本物理学会素粒子分科の予稿集の役割も担っていたものらしく、頼み数だけの論文が載っている。今では大御所になっている人達の奇抜な着想がなまに近い形で提出されていたりするのも興味をさそう。海外通信の欄も盛沢山である。朝永振一郎博士の理論がアメリカの物理学会に浸透していく過程などが内外の研究者間の手紙のやりとりの中に生き生きと表出されている。

現在では出版社系の和雑誌も多く、論文交換も迅速かつ広範になり「素粒子論研究」の相対的重味は幾分減じているのかもしれない。しかし、自分達の育てた雑誌として益々愛着を深めている人の多いことも確かである。

(理・平山)

### MATHEMATICS REPORTS, TOYAMA UNIVERSITY. 富山大学理学部数学教室発行

これは本学理学部数学教室が刊行している数学雑誌であり、1978年から年一巻のわりで刊行されている。投稿者は学内、国内のみならず海外にもおよび、一巻ごとに着実な発展をとげている。また現在200種余りの他の数学雑誌との交換をも行っており、それにより本学の数学関連雑誌の総数は購入を含め約520種類となり非常に充実したものとなっている。

(理・鈴木)

# 本学教官の寄贈著書紹介

(昭和57年10月～昭和58年3月)

伝熱工学 基礎編・応用編

若林嘉一郎(他)訳・培風館発行

・基礎編:昭和49年9月,316頁A5

・応用編:昭和48年10月,356頁A5

化学工学プログラミング演習

化学工学協会編

若林嘉一郎(他)著・培風館発行

・昭和51年3月,258頁A5

## 昭和57年度図書館利用状況

区分	入館者数	館外貸出						参考業務 利用数	文献複写利用数			
		教職員		学生		計			受付		依頼	
	人	人	冊	人	冊	人	冊	件	件	枚	件	枚
図書館本館	251,012	2,289	15,662	15,532	21,095	17,821	36,757	1,128	4,054	24,435	1,073	14,025
工学部分館		2,628	6,816	4,519	9,570	7,147	16,386	235			646	4,620
合計	251,012	4,917	22,478	20,051	30,665	24,968	53,143	1,363	4,054	24,435	1,719	18,645

## ——図書館関係会議—— (昭和57年10月～昭和58年3月)

### 商議会

- 12月6日 第33回北信越地区国立大学図書館協議会, 昭和57年度図書点検, 北信越地区図書館研究修会について報告。  
昭和57年度図書館設備費予算配分, 外国雑誌購入費の配分, 地図情報室設置準備委員会設置について(継続)審議。
- 12月13日 昭和58年度大型コレクション要求について説明報告。地図情報室設置準備委員会設置について審議。
- 1月17日 昭和58年度大型コレクション収書計画, 小委員会(地図情報室)について審議。
- 2月28日 昭和58年度大型コレクション収書計画, 小委員会(地図情報室)について審議。

### 北信越地区国立大学図書館協議会

#### 第33回

- ・11月16日～17日
- ・於富山大学附属図書館
- ・協議題「外国雑誌購入費の増額について」, 「学術情報システムについて」, 「地区協議会の在り方について」, 「北陸地区国立大学附属図書館事務担当者協議会について」, 「次回研修会の研修テーマについて」。

## ——図書館関係人事—— (昭和57年10月～昭和58年4月)

### 採用

57. 12. 16 高田礼子(受入係)
58. 4. 1 松島珠喜(総務係)
58. 4. 11 藤木弥三郎(閲覧係)
- 本田善彦(閲覧係)

### 転任

58. 4. 5 宮崎康之(閲覧係)
- 国立立山少年自然の家事業へ

### 配置換(学内)

58. 4. 1 塚原美幸(受入係) 人文・理学部へ
- 館喜美子(整理係) 工学部より
- (館内)
58. 4. 1 滋野康雄(受入係長) 閲覧係長より
- 秋元国男(整理係長) 受入係長より
- 塩谷孝雄(閲覧係長) 整理係長より
- 高瀬久美子(受入係) 総務係より
- 京藤貫(受入係) 整理係より

58. 4. 1 角井栞子(整理係) 工学部分館係より
- 石黒世志子(参考係) 整理係より
- 水口妙子(閲覧係) 総務係より
- 佐野久子(工学部分館係) 受入係より

### 退職(辞職)

58. 2. 28 藤木弥三郎(閲覧係)
- 本田善彦(閲覧係)
58. 3. 31 高田礼子(受入係)
- 松島珠喜(参考係)

### 図書館商議会名簿

若林嘉一郎図書館長(工)

宮尾嘉寿工学部分館長(工)

神前進一(人), 藤本幸夫(人), 大塚恵一(教), 加瀬正二郎(教), 小原久治(経), 小島満(経), 田中専一郎(理), 井上弘(理), 宇佐美四郎(工), 海老原直邦(養), 福田明夫(養), 竹岡環(図), オブザーバー 芳賀健一(短大)。